

「三教」とは、中国の主な宗教のうち儒教、仏教、道教を指し、紀元二世紀後半以降、互いに交渉を持ちつつ、中国社会、文化に大きな影響を与えてきました。仏教には、釈迦という教祖がいますが、儒教、道教には、明確な教祖は居らず、中国古代の思想・信仰・習俗などを取り入れながら、形成されてきました。そして、道教には、老荘思想の影響を強く受けていると言われてしています。

唐代の玄宗皇帝が、「莊子」を「南華真經」と命名し、道教を重視し、道教はその全盛期を迎えましたが、その頃から、三教は、互いに影響し合いつつも、三つ巴の競い合いを始めました。

三教の日本への導入ですが、道教、儒教、仏教の順と言われていきます。

道教伝来は、四世紀頃と言われていきますが、道教経典などの導入がなく、詳しくは分かりません。

これに対し、儒教伝来は、継体天皇の時代513年に、百済より五経博士が渡日しています。

仏教伝来は、欽明天皇の時代の538年で、百済王の使者が釈迦如来像や経典を伝えています。

また、聖武天皇の東大寺大仏開眼が752年です。道教に関して、唐側からの受け入れ申し出に対し、日本側が天皇を中心とする支配体制と相いれないものとして拒否した、という説があります。

しかし、浦嶋子伝説、羽衣伝説等などの神仙伝説に深くその痕跡を残している、とも言われています。空海（774年～835年）が、「三教指帰」という日本初の比較思想書を書いていますが、その中で、儒教<道教<仏教として、仏教が最も優れている旨を述べています。

その部分を見て行きたいと思います。

公等。並啓而稱曰。我等幸遇好會。適承讜言。方知鮑壘至臭。方壺極香。孽縻之醜。子都之好。金石有隔。薰蕕無比。從今以後。專心練神。永味斯文也。

三教指歸卷中終

○三教指歸卷下

◎假名乞兒論

有假名乞兒。不詳何人。生蓬茨衡。長繩樞戶。高屏蠶塵。仰道勤苦。黍髮剃隕。頭似銅盆。粉艷都失。面疑瓦塢。容色顛頽。體形叢爾。長脚骨豎。若池邊鷺。縮頸筋連。似泥中龜。五綴木鉢。比牛囊。以常繫左肱。百八橫子。方馬絆。而亦係右手。著道神屨。奔牛皮履。帶馱馬索。擲犀角帶。茅座常提。市邊乞人。押頰俯羞。繩牀纒負。獄傍盜士。抱膝仲歎。破口軍持。不異沾油之肩。落銀錫杖。還同賣薪之手。折頰高匡。顛頽隅目。嚙口無鬚。似孔雀具。缺唇疎齒。若狡兔唇。偶入市。則瓦礫雨集。若過津。則馬屎霧來。阿吡私度。常爲膠漆之執爨。光明嬰塞。時爲篤信之檀主。或登金巖。而遇雪坎壘。或跨石峰。以

陰之空國。與泡軍於四蛇之假鄉。甲蛛螫網。鎧蝮蜈騎。披虱皮而驚陣。旗蚊羽以標旅。杖我見戟。持寡聞劍。攘如霜臂。戰魍魎原。競利欲談。爭寰中辯。粵傾耳。漸聆擊目。佇立。各謂我是。並言彼非。于時自思。溜水微辯。燭火小光。猶既如是。况吾法王之子。盍摧虎豹之鉞。拉蠅蝮之斧。遂迺砥智慧刀。涌辯才泉。被忍辱介。駕慈悲驢。非疾非徐。入龜毛之陳。不驚不憚。對隱士之旅。於焉出壘。盤桓入壁。跋扈。因茲先以孔璋檄。示以魯陽書。將帥悚懼。軍士失氣。面縛降服。無勞血刃。但野心難改。情懷猶豫。卽流淚摩首。含悲喻曰。夫舉鱗濫觴。曾無由見。千里之鯤。翥翻籬籬。何能知有九萬之鵬。是故海上頑人。疑如魚木。山頭愚士。怪如木魚。則知非離朱明。無人見毫末。非子野聽。何能別鐘響。咨呼見與不見。愚與不愚。何其遙隔哉。吾聞汝等論譬。如鏤冰畫水。有勞無益。何其劣哉。龜毛之覺。

脚未可爲短。隱士之鶴足不足爲長。汝等未聞覺王之教法。帝之道乎。吾當爲汝等略述綱目。宜鑒秦王顯僞之鏡。早改葉公懼真之迷。俱醒觸象之醉。並學獅吼之道。儒童迦葉。並是吾朋。愍汝冥昧。吾先遣。然依機劣。淺示二儀之膚。未譚十世之理。而各執殊途。爭舉旗鼓。豈不迷哉。

隱士答曰。吾熟視公。已異世人。視頭無一毛。視體持多物。公是何州何縣。誰子誰資。假名大笑曰。三界無家。六趣不定。或天堂爲國。或地獄爲家。或爲汝妻孥。或爲汝父母。有波旬爲師。有外道爲友。餓鬼禽獸。皆是吾汝。父母妻孥。自始至今。曾無端首。從今至始。安有定數。如環擾擾於四生。似輪轟轟於六道。汝髮如雪。未必爲兒。吾髮如雲。而亦非弟。是汝與吾。從無始來。更生代死。轉變無常。何有決定。州縣親等。然頃日間。刹那幻住於南閻浮提。陽谷輪王所。

鼓騁淵淵鐘振磕磕。花飄聯聯。燐燐爛爛。震震填填。溢目溢耳。滿黃滿玄。履踵履跟。側肱側肩。盡禮盡敬。心謹心專。爾廻轉一音之。鸞輪摧群心之。蜚械拔持大千。投擲他界。不削大山。入於小芥。雨甘露雨。以誘以誠。班法喜食。韞智韞戒。悉詠康哉。兮擊腹壤。咸頌來蘇。兮忘帝功。無量國之所歸。湊有情界之所仰。叢惟尊惟長。以都以宗。咨咨不蕩蕩哉。大覺之雄。巍巍焉哉。誰敢比窮。此寔吾師之遺旨。如如之少濛。彼神仙之小術。俗塵之微風。何足言乎。亦何足隆哉。

於是龜毛公等。一懼一辱。且哀且笑。任舌俯仰。逐音方圓。喜歡踊躍。稱曰。吾等幸遇優曇之大阿闍梨。厚沐出世之最訓。誰昔未聞後葉。豈有吾若不幸。不過和上。永沈現欲。定沒三途。今僅蒙提撕。身心安敞。譬如震霆發響。蟄蚊開封。朝烏轉輪。幽閣澗冰。彼周孔

老莊之教。何其偏膚哉。自今以後。剝皮爲紙。折骨造毫。刺血代鉛。曝鬪用研。敬銘大和上之慈誨。以充先生之航輅。假名曰復座。今當敝三教。以十韻之詩。代汝等之謠諑。乃作詩曰

居諸破冥夜	三教寒癡心	性欲有各種
醫王異藥鍼	網常因孔述	受習入槐林
變轉聃公授	依傳道觀臨	金仙一乘法
義益最幽深	自他兼利濟	誰忘獸與禽
春花枝下落	秋露葉前沈	逝水不能住
廻風幾吐音	六塵能溺海	四德所歸岑
已知三界縛	何不去纓簪	

三教指歸卷下終